

ふるさと東総

平成19年3月1日発行 No.6

東総広域で 取り組んでいる 主な事業

- 東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ…… 2
- ごみ処理広域化推進事業…………… 2
- 中学生海外派遣研修事業…………… 3
- 銚子連絡道路整備促進…………… 3
- その他の事…………… 4
- 東総地区広域市町村圏事務組合の概要…………… 4



シンガポール：ウィットリー中学校(Whitley Secondary School)にて [2006.7.27撮影]

編集・発行／東総地区広域市町村圏事務組合

〒289-2521 千葉県旭市八の612-1 東総振興センター内

電話：0479-62-3305 FAX：0479-62-3302

はじめに ～ 新たな東総広域圏 ～



国内経済の順調な回復が伝えられる中で、地方の財政状況は依然として厳しさが続いています。将来的にも、少子高齢化に伴う労働人口減少による税等の収入減、高齢人口増加による医療福祉支出の増加が見込まれており、更なる行政の効率化の推進が必要になっています。

この東総広域圏に於いても、平成の大合併により新たな2市が誕生し、銚子市、旭市、匝瑳市による構成となりました。今後は、行政の効率化はもとより、東総広域圏の特徴である全国有数の農林水産業、豊富な観光資源を維持、育成し、地域の活性化を当圏域の共通の課題として、取り組む必要があります。

一方、東総広域圏を取巻く地方医療体制の危機が大きく取りざたされる中で、100万人医療圏を支える、旭中央病院を中軸とした医療福祉等の優れた資質をより効果的に活用するためにも、広域的な連携、共同処理が不可欠であります。

地方分権の時代となり、地域の自主性、独自性が求められている中で、東総広域圏が発展していくためには、各構成市が互いに良い刺激を受けながら発展して、地域一体で取り組んでいくことが重要でありますとともに、地域間の競争力増加につながると考えています。

今後も、豊かな自然、地理的条件、温暖な気候等の素晴らしい生活環境を生かした、より魅力的な圏域づくりを目指して広域行政を推進していきます。

東総地区広域市町村圏事務組合管理者 伊藤 忠 良

ごみ処理広域化事業

現在、東総地域内で発生したごみは銚子市清掃センター（銚子市）、旭市クリーンセンター（旭市）、松山清掃工場（匝瑳市）の3施設でそれぞれ処理しています。施設更新にあたっては、それぞれで焼却施設を建設するより、1ヶ所の施設で処理を行った方が様々なメリットがあります。

ごみ処理広域化のメリット

- ・施設集約化によるごみ処理経費の削減
- ・ごみ焼却エネルギーを利用して温熱供給や売電が可能
- ・リサイクルセンターを活用し、効率的な再資源化
- ・広域での施設整備は国の補助金対象

また、ごみ処理広域化にはメリットだけではなく、反対にデメリットもあります。これらデメリットの克服が今後の課題となります。

ごみ処理広域化のデメリット

- ・運搬距離の増大による、運搬効率の悪化
- ・運搬車両の増加による、排気ガス等環境への影響

○デメリットを克服するには？

中継施設を設け運搬効率を改善し、大型車に積み替えて搬入台数を削減する方法もあります。……イメージ図参照

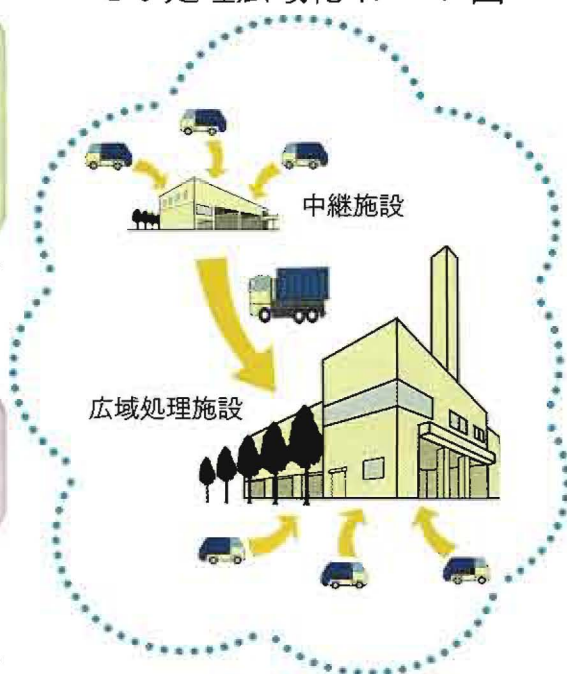
一般にごみ焼却施設の耐用年数は15年とされていますが、銚子市の焼却施設は稼働後すでに20年を経過し、同様に旭市が14年、匝瑳市が23年とそれぞれ老朽化が進んでいます。

今から焼却施設を建設するとなると、環境に及ぼす影響を調べるのに約3年、建設工事で約3年と、最低でも6年かかり、広域内で一番新しい旭市の施設でも20年を経過してしまいます。

そのため、ごみ処理広域化を早急に進めることが求められています。

今後事業を進めるにあたって住民の方々に十分な説明を行い、協力していただけるよう努力していきます。

ごみ処理広域化イメージ図



東総地区中学生海外派遣研修

平成18年7月25日から29日(4泊5日)の日程で、圏域内中学生32名により『東総地区中学生海外派遣研修(シンガポール)』を実施しました。研修期間中は、班別自主研修やウィットリー中学校との交流会、シンガポール日本人会への訪問、セントーサ島等の見学を行いました。

班別自主研修では、自分達で事前に計画した行程でシンガポールの街を散策しました。道中は地図を片手に、身振り手振りを交えた英会話を使いながら、目的地を目指しました。



ウィットリー中学校では、現地中学校生徒による校内案内と民族舞踊、私たち研修団は合唱を披露して友好を深めてきました。



研修では、食事や地下鉄の乗車方法をはじめとした文化・風習の違いや、中国系やイスラム系等の多民族が、英語という公用語を通して、お互いの生活・宗教を理解し尊重して生活している様子を体感することができました。

今回の経験が、将来の国際化社会への対応や英語の重要性を認識するきっかけとなって欲しいと考えています。



銚子連絡道路の早期整備促進



銚子市で開催された第9回銚子連絡道路整備促進地区大会での決議を踏まえて、5市4町(山武地区2市4町、東総地区3市)の首長・議長で構成する山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会は、平成18年8月2日、地元選出議員である、林幹雄衆議院議員

とともに国土交通省、財務省を訪問し、銚子連絡道路の早期完成の要望活動を行いました。

銚子連絡道路は、山武・東総地域の産業、医療福祉、防災等様々な分野の基盤施設であり、地域の活性化のためにも、早期の全線開通が望まれています。

期成同盟会は、今後も、早期完成に向けて、関係機関への要望等に取り組んでいきます。

国土交通省

関東地方整備局



銚子連絡道路

整備区間 調査区間 計画路線



その他の主な事業

- ・**職員採用試験事業** 構成市、一部事務組合の職員採用試験を合同で実施し、経費の節減・採用候補者の資質の均一化を図ります。

平成18年度	
実施日	平成18年9月17日(日)
試験会場	旭市立第二中学校
参加団体	4団体(銚子市、旭市、匝瑳市、匝瑳市横芝光町消防組合)
試験職種	11職種(一般行政職、保健師職、消防職等)
応募者数	291名
受験者数	256名

- ・**職員共同研修事業** 構成市職員の公務員として執務に必要な基礎的知識を習得するとともに、指導力および勤務能率の向上を図ります。

新任職員研修:新規採用職員
 中級職員研修:在職期間10年以上の職員
 監督者研修 :係長又は同等の職にある者
 …他

東総地区広域市町村圏事務組合の概要

事務組合の構成



構成団体:銚子市、旭市、匝瑳市
 圏域面積:315.60平方km
 圏域人口:187,749人

銚子市 面積:83.91平方km
 人口:75,020人
 旭市 面積:129.91平方km
 人口:70,643人
 匝瑳市 面積:101.78平方km
 人口:42,086人
 【平成17年国勢調査より】

事務組合の組織

